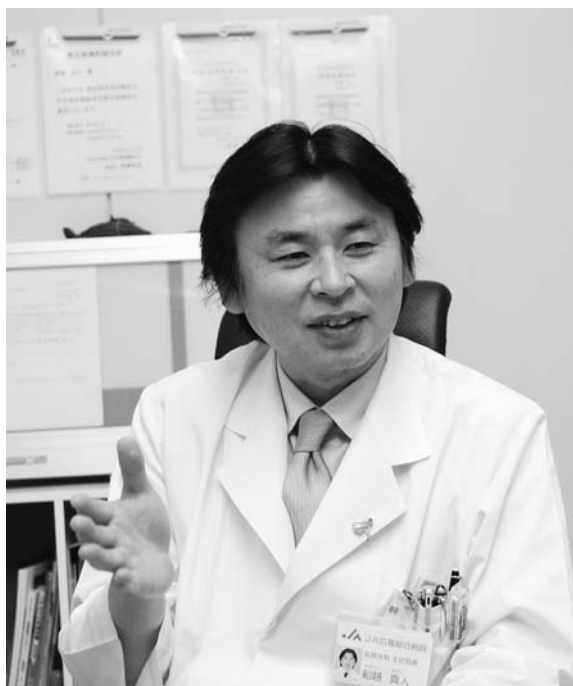


# 乳がんは、 早期発見と 早期治療で 治る病気です



佐伯地区医師会

ふなこし・まひと  
船越 真人先生

## なるほど!!健康講座

問合せ 廿日市市保健センター ☎1610

現在日本では、約5万人の女性が乳がんにかかっています。女性の乳がんでは第一位です。また1万人の方が乳がんで亡くなっています。これは25年前の2.5倍の発生頻度で、増加傾向はまだまだ続くと思います。

乳がん増加の背景にあるのは日本人のライフスタイルや食生活の欧米化だろうといわれています。

り、ライフスタイルは大きく変わらなれないと思われ、日本の乳がんは増え続けると思います。また、アルコールの取り過ぎなども乳がんのリスクを高めるといわれています。閉経後の肥満もよくありません。またお母さん、叔母さん、姉妹などが乳がんの場合、さらにリスクは高くなります。家族性乳がんのうち原因遺伝子を持つものを遺伝性乳がんといい、この遺伝子がある方は80%の確率で乳がんになります。

乳がんの検診は、マンモグラフィという乳房を挟んで写真を撮る検査です。検診は、市役所の検診を利用するのが簡単だと思います。(40歳以上の方が対象です)

また、「女性特有のがん検診推進事業」として、対象者には6月に市役所から無料クーポン券が配布されています。40歳から60歳まで5歳刻みの年齢の方は、この無料クーポン券を利用してください。検診を受けてさらに精密検査が必要になった場合は、乳腺外科を受診してください。乳腺産婦人科ではありません。乳腺専門医師に診てもらってください。乳がんの治療は、手術と抗がん剤などの薬物療法の2本柱です。腫瘍の大きさが小さくてわきの下のリンパ節に転移がない

場合は、最初に手術をします。腫瘍が大きい場合や、わきの下のリンパ節に転移がある場合は、最初に抗がん剤を使って腫瘍を小さくして手術します。手術後も抗がん剤や女性ホルモンを抑える薬などが必要になる場合がほとんどです。乳がんの手術は縮小される傾向にありますが、できるだけきれいな乳房を残す努力もされています。乳房切除した場合は、乳房再生も積極的に適応されるようになっていきます。

現在、乳がんは大きく4種類に分かれることが分かってきています。手術した組織を詳しく調べ、どの種類のがんであるのかを確認して、その人に最も適した薬を使うようになっていきます。それをがんの個別化治療といいます。予防としては日本古来の食生活を見直し、バランスの良い食事を取るとともに、適切な運動を行い肥満体型にならないように気を付けることが一番です。確かに乳がんは怖い病気ではありますが、絶望的な病気ではなく、治療は非常に進歩してきており、きちんと治療すれば治る病気です。しかし、最も大事なことは早期発見です。検診を定期的に行いましょう。また少しでも症状のある方は乳腺外科を受診してください。